

蓄電

失敗しない！蓄電池の選び方。

supporter.com

蓄電池導入『虎の巻』

家庭用蓄電池を導入する際に
抑えるべき、5つのポイントとは？

【失敗しない蓄電池の選び方！】

produced by

 エキスパート&トラスト Experts&trust 株式会社

蓄電池選び5つのポイント

①自宅に必要な蓄電池容量を算出する

蓄電池本体に蓄電出来る蓄電容量はどの位必要か？

②パワーコンディショナータイプを選ぶ

蓄電池と太陽光システムを繋ぐパワーコンディショナーのタイプ
単機能型？ハイブリット型？

③停電時に対応できるタイプを選ぶ

停電時に家中まるごとカバーする「全負荷型」、事前に決めた回路のみに対応する「特定負荷型」

④設置タイプを選ぶ

屋外設置型・屋内設置型・壁掛け型など

⑤販売店/工事店選び

自宅からの近さ？値段の安さ？アフターフォロー？提案力？



① 自宅に必要な蓄電池容量を算出する

蓄電池選びのポイントとして、“自宅に必要な蓄電池容量”を選択する必要があります。

一般的には蓄電池販売店の営業マンを呼び、オススメの容量を算定してもらって決めているパターンが多いですが、中には「本来必要な容量」では無く、販売店側が売りたい製品（容量）をすすめられ必要以上の大容量の蓄電池を導入し高額になるケースや、必要容量を満たさずに、せっかく蓄電池を導入したのに、自家消費する分が少なく、結局高い電気を購入しているケースも少なくありません。

根拠に基づいた提案をしてくれる販売店さんから購入するか、自分で予め計算して、適正な容量の蓄電池を導入しましょう。

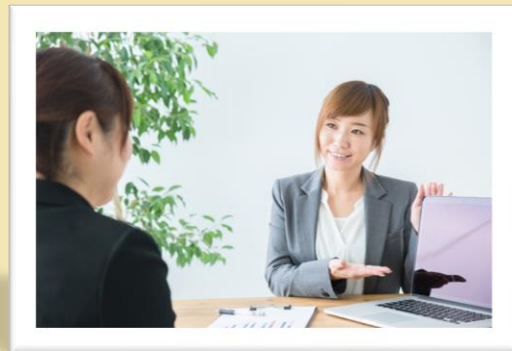
蓄電池容量を決める一つの方法として、これまで売電（太陽光発電分を売る）していた容量を自家消費する場合、売電量（年間）÷365日＝1日の売電量を算出する事で、蓄電池容量の目安とする考え方が御座います。

例) 年間売電量3800Kwhの場合

$3800\text{Kwh} \div 365 = 10.4\text{Kwh/日}$

シーズンによる発電量増減を考慮して、7～12Kwh位が蓄電池容量の目安となります。

※家族が多い、消費電力が大きい家電を使っている、
などで太陽光余剰電力+夜間電力も蓄電したい場合など
ご家庭の状況により最適な蓄電容量は変動致します。



☆太陽光の売電量・ご利用家電消費電力などから自宅に必要な蓄電池スペックを知りたい方は、下記より行えます。

① 電サポータードットコム→<https://chikuden-supporter.com/> の「スペックシミュレーション」：QRコード

② LINEから→



② パワーコンディショナーのタイプ

パワーコンディショナー（PCS）とは電気の直流・交流を変換する機器となります。太陽光発電システムでは直流で発電され、自宅で電気を使う際に交流で使用します。太陽光発電で作った電気をそのまま家庭のコンセントから使用する為にPCSで直流から交流に変換させる必要があります。

一方、蓄電池に貯める為には直流で貯めなければならず、上記太陽光PCSで交流に変換した電気を、蓄電池のPCSで再度直流へ変換し直す必要があります。

その為一般的な蓄電池【**単機能型**】を設置する場合は、PCSが一台ずつ必要となります。

デメリットとしては、変換ロスによる発電ロスが発生します。

上記単機能型のデメリットを解消したPCSが【**ハイブリット型**】PCSとなります。

太陽光発電・蓄電池兼用で太陽光パネルで発電した直流の電気を、そのまま蓄電できるメリットがあります。

蓄電の際に直流→交流の変換が行われず、蓄電時の変換ロスが抑制され、メリットとして発電した電気を効率よく使えます。

太陽光システムのパワーコンディショナーが**10年程度**経過し保証が切れるなどの場合、蓄電池導入時にハイブリット型PCSに変える事で変換効率UP、新しいPCSに変わる事での故障リスク軽減！などのメリットが御座います。

太陽光のパワコンが新しい、費用を抑えたい→【**単機能型**】

太陽光のパワコンが10年程度経過している、発電、変換効率を向上させたい→【**ハイブリット型**】

※**ハイブリット型**の場合、太陽光モジュールからの**入力回路数**により**対応出来る機種が異なります**。**事前の確認**が必要です。

☆太陽光の売電量・ご利用家電消費電力などから自宅に必要な蓄電池スペックを知りたい方は、下記より行えます。

① 電サポータードットコム→<https://chikuden-supporter.com/> の「スペックシミュレーション」：QRコード

② LINEから→



③ 停電時に対応できるタイプを選ぶ

【全負荷型】

停電時に家全体で非停電時と同じ様に電気が使える状態を希望する場合は全負荷型となります。

※エコキュート・IH調理器・200Vエアコンなども使えます。

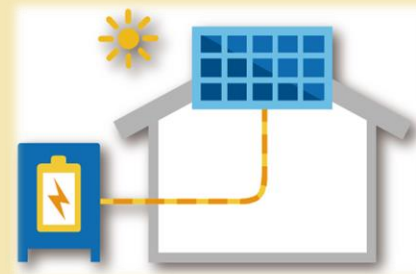
但し上記の機器を利用する事で停電時蓄電池の消費電力は大きくなりますので停電時には注意が必要です。

【特定負荷型】

リビングのシーリングライト、冷蔵庫、TV、PC、携帯の充電など事前に決めた特定の回路のみに電源を供給するのが特定負荷となります。

※エコキュート・IH調理器・200Vエアコンなどの機器は停電時は使えません。

上記の様に停電時にどこまで蓄電池でカバーするかで全負荷型及び特定負荷型を導入時に判断する必要があります。
ご家族で相談の上、どちらのタイプにするかをお決めになる事をオススメします。



☆ 太陽光の売電量・ご利用家電消費電力などから自宅に必要な蓄電池スペックを知りたい方は、下記より行えます。

① 電サポータードットコム→<https://chikuden-supporter.com/> の「スペックシミュレーション」：QRコード

② LINEから→



④設置タイプを選ぶ

【屋外設置型】

一般的な系統連係型の蓄電池は蓄電池本体の重量が重いものが多く、屋外設置型が多いです。建物の北側など日光が当たらない場所への設置が一般的です。

※南側など日光が当たる場所にしか設置出来ない場合、専用カバーの設置が必要な場合が御座います。設置場所がコンクリート仕上げなど直接蓄電池本体をアンカーで固定できる場合以外は基礎工事が必要となります。その際は、メーカー指定の仕様による基礎工事・ベース基礎設置が必要です。

【屋内設置型】

サイズはメーカー・機種により様々ですが、配線状況や高温多湿な場所を避けるなど配慮が必要です。床が重量に耐えられるかなどの判断も必要なので、販売店/工事店様のプロの判断を仰ぎましょう。

【壁掛け設置型】

メーカー・機種によっては壁掛けタイプの蓄電池もあります。

壁掛けタイプの場合、壁の補強など必要な場合も有りますので、販売店/工事店に事前に確認した上で設置しましょう。

その他、寒冷地仕様の有無やペーサーメーカー利用者が家族に居る場合の注意点なども事前に確認する事をオススメします。

☆太陽光の売電量・ご利用家電消費電力などから自宅に必要な蓄電池スペックを知りたい方は、下記より行えます。

① 電サポータードットコム→<https://chikuden-supporter.com/> の「スペックシミュレーション」：QRコード

② LINEから→



⑤販売店/工事店選び

販売店/工事店の選びのポイント

↓下記の様なケースは注意しましょう。

- ・他社に比べ値段が高い？ ←飛び込み訪問販売で相場より高額の契約をされているケースが多く見られます。
- ・他社に比べ値段が安すぎないか？ ←目先の資金繰りを優先し十分な利益を得られず早期に倒産するケースが有る為
- ・特別価格と称して即日の契約をせまられる ←今日しか出せない特別価格は一般的には御座いません。
家族でしっかり話し合って決める事をオススメします。
- ・●●●万円を●●●万円に値引きし、更にエコ●●●をサービスしますなど、過剰なサービスで契約を迫られないか？
- ・工事直前で工事内容のイレギュラーを告げられ追加費用を請求されないか？
- ・商談時、見積書と同じ製品が導入されているかどうか？ などなど。。

要確認項目！

- ①提案している蓄電池の容量、出力、太陽光回路のPCS最大入力回路数
- ②発注から設置までの工期、電力会社、経済産業省の変更申請期間
- ③補助金申請時の対応可否
- ④工事費確定のタイミング
- ⑤製品・工事費支払時期など
- ⑥説得力の有る、根拠に基づいた提案をしているか？
などなど、チェックポイントは多岐に渡ります。



不安な方は、下記見積診断サービスをご活用下さい。

☆蓄電池の見積や販売店対応に不安な方は下記WEBサイトの【見積診断サービス】へアクセス。

- ①蓄電サポータードットコム→<https://chikuden-supporter.com/>の「見積診断」をクリック！ : QRコード
- ② LINEから→



蓄電池に関するお問い合わせは、



家庭用蓄電池専門情報サイト



<https://chikuden-supporter.com/>



蓄電Supporter.com運営会社

 エキスパート&トラスト Experts&trust 株式会社

TEL : 0120-377-490

〒981-0905
宮城県仙台市青葉区小松島4-30-8サンヒルズSSK II 1F